

令和８年度「教師を志す高校生支援事業」（前期）実施要項

- 1 **目的** 将来、宮城県の教育を担うという志を持った高校生の進路希望の達成に役立つよう、宮城県内の高校生を対象に、教師という職業や生き方について考える機会を設ける。
また現役教師や教師を目指す大学生の講話を聞き、進路意識の一層の高揚を図る。
- 2 **主催** 宮城県教育委員会、宮城教育大学
- 3 **担当** 宮城県教育庁高校教育課、宮城教育大学入試課
- 4 **対象** 県内の高校２年生及び３年生 計５１０名（午前、午後で各２５５名）
※ １年生は、「１０（４）」に記載のとおり「教師を志す高校生支援事業」（後期）で募集します。（前期）には申し込みできませんので、注意してください。
- 5 **日時** 令和８年８月１日（土） 午前の部 午前９時から正午まで
午後の部 午後１時から午後４時まで

時 間		会 場	内 容	対 応 者
午前の部	午後の部			
9:00 － 9:10	13:00 － 13:10	大学講堂	開会	大学、県教委
9:10 － 10:40	13:10 － 14:40		講話・パネルディスカッション （仮題）教師を志すということ	大学教員、県教委、 現役教師、学生
10:40 － 11:00	14:40 － 15:00		休憩・分科会会場へ移動	
11:00 － 12:00	15:00 － 16:00	大学教室	専門分野毎に分科会 （大学教員による講話・質疑等）	大学教員
			分科会毎に解散	大学、県教委

- 6 **会場** 宮城教育大学
〒980－0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149
- 7 **参加費** 無料
- 8 **内容**
 - （１）講話及び質疑（宮城教育大学教員、教職員課、現役教師、宮城教育大学３年生）
宮城教育大学教員、宮城県教育委員会事務局職員、現役教師、宮城教育大学学生に、それぞれの立場から、今後求められる教師像や教師の仕事内容、教師という仕事のやり甲斐、大学生活等について、思いや考えを話してもらい、高校生が教師という職業を多面的に捉えることができる機会とします。
 - （２）分科会
大学教員による講話から、実際に大学で行われている研究活動の一端に触れることで、教育を学ぶことの楽しさ、やり甲斐、厳しさを感じ、また、大学教授と質疑を通して直接対話をすることで、教育大学で学ぶことの意義を考える機会とします。

9 参加申込

(1) 申込方法

各学校でとりまとめのうえ、**令和8年6月22日（月）正午まで**、別紙様式（エクセルファイル）メールで申し込むものとします。

※ 申し込むことができるのは、高校2年生及び3年生に限ります。

(2) 申込先メールアドレス及びメール件名並びにファイル名

申込先メールアドレス：ko-suu@pref.miyagi.lg.jp（担当：鈴木）

メール件名及びファイル名：「(学校番号)_(学校名略称)_R8教師を志す（前期）」

※学校番号は、別紙様式（エクセルファイル）「学校番号」タブの「令和8年度学校番号一覧」の番号を使用願います。

(3) 留意事項

ア 分科会希望については、「11 分科会一覧」から**必ず第3希望まで**選び、別紙様式に記載願います。なお、各分科会の定員により、希望に添えない場合がありますことを了承願います。

イ 応募者多数で定員を超過した場合、希望に添えない場合がありますことを了承願います。

10 その他

(1) 午前・午後の別

必ず第1希望、第2希望を別紙様式に記載願います。

なお、各分科会の定員により、希望に添えない場合がありますことを了承願います。

(2) 当日の詳細

学校を通じて、参加者に別途通知します。

(3) 欠席・遅刻の連絡

当日やむを得ず欠席・遅刻する場合は、必ず連絡願います。

ア 7月31日（金）までは、各学校をとおして高校教育課担当（電話 022-211-3624）まで連絡願います。

イ 当日の欠席・遅刻等の連絡については、参加予定者本人が午前8時30分以降に高校教育課担当（電話 070-6559-4099）まで連絡願います。

(4) 【予告】教師を志す高校生支援事業（後期）

日時 令和8年12月24日（木）（予定）

会場 宮城教育大学

対象 県内の高校1年生

募集 10月頃を予定。（改めて通知します。）

1 1 分科会一覧

	分科会	分野	内容（予定） ※内容は変わる可能性もあります	担当教員	定員	
					午前	午後
①	初等教育	幼児教育	幼児期の教育や保育は「幸せな人生を歩む」ための不可欠な条件であると言われてしています。現在、経済学、認知科学、医学といった様々な分野の研究者が幼児教育の重要性について指摘しています。この講話では、現代日本の深刻な少子化の現状と未来を担う幼年期のこども（幼児や低学年児童）を豊かに育むための教育について、解説します。その上で、保育者や小学校教諭を志す高校生の皆さんと意見交換をしたいと思っています。	佐藤 哲也	30	30
②	初等教育	国語科教育	この分科会では、小学校国語科の学習指導を例に、子どもの読む力の発達と指導のあり方について考えます。小学校の6年間で、子どもたちの読む力は大きく発達していきます。そこで、小学校の低学年と高学年では読み力にどんな違いがあるかについて、同じ教材文を取り上げた調査から明らかにします。そして、その調査結果をふまえて、授業を行う教師はどんな配慮や工夫が必要かについて考えます。	児玉 忠	30	30
③	中等教育	社会科教育	社会科は、どのような目的・内容・方法で教育するものでしょうか。 身近な話題、時事的な話題などから具体的に考えてみよう！	吉田 剛	40	40
④	中等教育	理科教育	理科の基本は「？（はてな・疑問）」と「探究（なぜを追及）」です。新しい観察グッズを使って探究してみます！皆さんの学校で使用する顕微鏡並みのパフォーマンスをタブレット顕微鏡が発揮します！拡大して記録撮影してみたいポケットサイズまでのものを持参していただいても構いません。スマホと連携してミクロ・マイクロの微小な世界を複数のタブレット顕微鏡を使って撮影しながら観察します！『新しい発見』を体験できます！！ ※活動の中で参加者のスマホを使う予定です。	渡辺 尚	30	30
⑤	生活系教育	技術科教育	皆さんが中学校で受けてきた「技術科」、つまり「技術・家庭科 技術分野」は、「情報・技術科（仮称）」という教科に大きく変わろうとしています。これまでの「ものづくり」を「情報技術」で支えていく時代となってきました。この分科会では、これまでの「ものづくり」における製図の活動を「3DCAD」で行うことを試みます。皆さんのイメージする「技術科」とは大きく異なりますが、新しい時代の教員と一緒に目指してみませんか？ ※活動の中で参加者のタブレットを使います。タブレット持参が可能な生徒を対象とします。	渡津 光司	20	20
⑥	芸術体育系教育	音楽科教育	高校生の皆さんは、音楽の授業というと何を思い浮かべるでしょうか？今回は難しいことは抜きにして、クラスで協働してできる音楽活動として一緒に「音を重ねる」体験をしてみたいと思います。歌声を重ねたり、簡単に演奏できる楽器を用いたり、当日必要なものはこちらでご用意します。小学校の時のソプラノリコーダーや中学校でのアルトリコーダーがもしあれば活用したいと思いますので、ご自宅にあればご準備の上ご参加ください。	原田 博之	30	30

	分科会	分野	内容（予定） ※内容は変わる可能性もあります	担当教員	定員	
					午前	午後
⑦	特別支援教育	特別支援教育	「特別支援教育」については、「障害のある子供たちへの教育」というイメージがあるかもしれませんが。それでは、その「障害」とはいったいどのようなものであると言えるでしょうか。実は、「障害とは何か」については様々な見方・考え方があり、時代の流れとともに変化しています。分科会では、このことについて学び、その上で「特別支援教育」の充実に向けて重要なことを一緒に考えてみたいと思います。	野崎 義和	25	25
⑧	教員に求められる資質能力	子供理解（教育心理学）	理想的な勉強方法とは？ ～有意味学習と無意味学習の対比～ 皆さんは定期テスト、受験勉強など、試験対策で頑張っていて、効率的な勉強方法があるはずだと感じているはずです。今回はこの疑問を解決するために、有意味学習と無意味学習の対比という認知心理学実験を2つ行います。この2つのオンライン実験をとおして効率的な学習とはどのようなものなのか、実験結果をとおして考察します。 ※活動の中で参加者のスマホを使う予定です。	平 真木夫	50	50